

人体構造系Ⅱ

責任者	氏名	岡本圭史	内線	7022
	教室	解剖学第二(肉眼形態学)	e-mail	okamon@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	18:00-19:00		

対象年次・学期	学士編入学3年・後期	講義形態	実習
必修・選択	必修	単位数	人体構造系6.5単位の一部
英語名	Human Structure 2		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

ねらい：人体構造系は従来の「肉眼解剖学」に相当し、講義並びに実習を通して人体の諸構造を理解するための解剖学的知識を修得するとともに、解剖学以外の基礎医学、臨床医学、社会医学などを学ぶための基礎学力をも身につける。その際学ぶ解剖学用語は、一つ一つの概念を表現するために約束された記号であり、重視されるべきである。また、解剖学実習は、剖検した構造物を自分の目で観察し正確に記載してゆくという科学的学習態度の初歩を身につける機会としても位置づけられる。併せて、解剖学実習は御遺体にメスを入れるという特殊な実習でもあるので、知的修得ばかりでなく「心の学習」の場でもあることを自覚、認識して臨まなくてはならない。

到達目標：人体の肉眼解剖学的な種々の諸構造について、適切な解剖学用語を用いて具体的に説明できる。

2. 授業内容（講義・実習項目）

解剖学実習を行う。

3. 教科書、参考書等（★は教科書、必携）

書名	著者	出版社	定価(税抜)
★解剖実習の手びき	寺田春水・藤田恒夫	南山堂	7,300円
★分担解剖学1(総説・骨学・筋学)	小川鼎三、森 於菟 他	金原出版	9,300円
★分担解剖学2(脈管学・神経系)	平沢 興 他	金原出版	10,600円
★分担解剖学3(感覚器学・内臓学)	小川鼎三 他	金原出版	8,600円
Color Atlas of Anatomy (英語版、日本語版)	J. W. Rohen 他	医学書院	12,000円
分冊 解剖学アトラスⅠ(運動器)	長島聖司 訳	文光堂	4,800円
分冊 解剖学アトラスⅡ(内臓)	長島聖司 訳	文光堂	4,800円
分冊 解剖学アトラスⅢ (神経系と感覚器)	長島聖司・岩堀修明 訳	文光堂	4,800円

4. 成績評価の方法・基準

末梢神経学、内臓学、解剖学実習についての筆記試験を行う。解剖学実習については実習中に口答試験を行う。

- ・受験資格 講義：2/3以上出席，実習：原則として皆出席（無届欠席は失格）
- ・分野と配点 内臓学—200点，末梢神経学—100点，解剖学実習—700点
- ・試験と評価 ○本試験（2月実施）→分野別で合否を評価
○再試験（3月実施）→本試験の不合格分野のみを受験。但し、本試験の得点↓が30%未満の分野がある場合は全分野を受験。
人体構造系Ⅱとして総合的に評価

※ 本試験，再試験とも無届欠席は失格とする。

5. 教員名

解剖学第二：岡本圭史、分部哲秋、佐伯和信

6. 備考（解剖学実習事前学習等について）

- ・解剖学実習をプログラム通りに進行させるためには解剖内容の正確な理解が必要であり、十分なる予習を必要とする。
 - 1) 事前配布する解剖手技に関してのプリント、『解剖実習の手びき』6-7頁の皮切の要領、11頁の神経・血管の見分け方、29頁の血管の剖出法等、実習書のコラム欄を熟読また十分理解し、各構造物の剖出の仕方を実践できるようにしておく。
 - 2) 実習プログラムに沿って予習しておく。
 - ①解剖の流れは常に3～4回先まで把握する。
 - ②頁ごとの手順を理解し、剖出すべき構造物について予習ノートを作成する。
 - ③実習日での事前学習は困難であるので、休日等を利用してできるだけ先へ進めておく。
- ・事前に配布される諸注意に沿って、実習に必要な物を注文・購入しておくこと。

人体構造系Ⅱ(学士3年次)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
12	10	木	3	解剖学実習心得	実習に際しての心得、諸注意	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
			4	解剖学実習準備	実習準備		
12	11	金	1 2	解剖学実習 1	解剖体安置、洗滌、背部の皮剥と皮下 §6 pp. 20-22	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
12	14	月	3 4	解剖学実習 2	背部の皮下 §6 pp. 21-22	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
12	15	火	3 4	解剖学実習 3	背部浅層 §7 pp. 23-25, §14 pp. 47- 49	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
12	16	水	3 4	解剖学実習 4	頸部・胸腹部の皮剥と皮下 §1-3 pp. 4-12, §30 pp. 93-96	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
12	17	木	3 4	解剖学実習 5	頸部浅層① §5 pp. 16-19 前胸壁・腹壁① §4 pp. 12-16	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
12	18	金	1 2	解剖学実習 6	頸部浅層② §8 pp. 25-29 前胸壁・腹壁② §9 pp. 29-32, §30 pp. 96-97	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
12	21	月	3 4	解剖学実習 7	頸部深層① §10 pp. 33-36 前胸壁・腹壁③ §29 pp. 91-93, §30 pp. 97-100	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
12	22	火	3 4	解剖学実習 8	頸部深層②、胸鎖関節開放 §10 pp. 33-36, §38 pp. 122-123 前胸壁・腹壁④ §31 pp. 100-102	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
12	24	木	3 4	解剖学実習 9	上肢離断、上肢の皮下 §15 pp. 50-51, §11 pp. 37-41 胸腔・腹腔の開放、胸膜・心膜 §32 pp. 102-103, §35-36 pp. 110-116	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
12	25	金	3 4	解剖学実習 10	上肢の皮下、腕神経叢 §11 pp. 37-41 縦隔①、肺 §38 pp. 123-125, §39 pp. 125-127, §37 pp. 117-121	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	4	月	3 4	解剖学実習 11	上腕屈側 §12 pp. 41-44 心臓① §40 pp. 127-131	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	5	火	3 4	解剖学実習 12	肩部、上腕伸側 §13-14 pp. 45-50 心臓②、縦隔② §41 pp. 131-137, § 42 pp. 137-141	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	6	水	3 4	解剖学実習 13	前腕屈側 §16 pp. 52-55 腹膜、自然位の腹部内臓、腹部内臓の血 管・神経① §32-34 pp.103-108, §43- 45 pp. 143-157	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	7	木	3 4	解剖学実習 14	前腕伸側、手背 §17 pp. 56-61 腹部内臓の血管・神経② §45 pp. 151- 157	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)

※解剖学実習の授業内容の数字は『解剖実習の手びき』のセクションおよびページ

人体構造系Ⅱ(学士3年次)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
1	8	金	3 ----- 4	解剖学実習 1 5	手掌① § 18 pp. 62-63 腹部内臓の血管・神経③、小腸・大腸 § 45 pp. 151-157, § 46 pp. 157-162	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	12	火	3 ----- 4	解剖学実習 1 6	手掌② § 19 pp. 65-68 上腹部内臓 § 47-49 pp. 162-173	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	13	水	3 ----- 4	解剖学実習 1 7	手掌③ § 20 pp. 69-71 腹膜後器官、後腹壁① § 50-51 pp. 173-184	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	14	木	3 ----- 4	解剖学実習 1 8	上肢の血管・神経 § 21 pp. 71-72 後腹壁②、横隔膜 § 51-52 pp. 179-189	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	15	金	3 ----- 4	解剖学実習 1 9	背部深層、腰部離断 § 26-27 pp. 82- 86, § 52 pp. 189-190	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	18	月	3 ----- 4	解剖学実習 2 0	頭部離断、頸部最深層 § 72 pp. 272-278 会陰部と外生殖器、骨盤折半 男性: § 65m-66m pp. 230-240, § 67 pp. 244-246, 女性: § 65f-66f pp. 254-257, § 67 pp. 244-246	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	19	火	3 ----- 4	解剖学実習 2 1	頭蓋腔と内頭蓋底 § 78 pp. 297-301 骨盤の内臓と血管・神経① § 64 pp. 229- 230, 男性: § 68m-69 pp. 246-249, 女性: § 68f pp. 261-263, § 69 pp. 247-249	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	20	水	3 ----- 4	解剖学実習 2 2	咽頭・甲状腺・気管 § 74-75 pp. 283-289 骨盤の内臓と血管・神経② § 69 pp. 247- 249, 男性: § 70m pp. 250-254, 女性: § 70f pp. 263-269	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	21	木	3 ----- 4	解剖学実習 2 3	喉頭、頭部折半 § 76 pp. 290-296, § 79 pp. 301-305 下肢の皮下 § 53 pp. 191-196	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	22	金	3 ----- 4	解剖学実習 2 4	顔面浅層① § 73 pp. 278-283 大腿筋膜、殿部浅層 § 54 pp. 197-198	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	25	月	3 ----- 4	解剖学実習 2 5	顔面浅層②、顔面深層① § 73 pp. 278- 283, § 81 pp. 309-313 殿部深層 § 56 pp. 204-207	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	26	火	3 ----- 4	解剖学実習 2 6	顔面深層② § 81 pp. 309-313 大腿伸側 § 55 pp. 198-204	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	27	水	3 ----- 4	解剖学実習 2 7	側頭下窩 § 82 pp. 313-315 大腿屈側・膝窩 § 57 pp. 207-210	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	28	木	3 ----- 4	解剖学実習 2 8	鼻腔 § 80 pp. 305-309 膝窩・下腿屈側 § 58 pp. 210-213	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
1	29	金	3 ----- 4	解剖学実習 2 9	舌、口蓋、副鼻腔 § 83-84 pp. 315-318 下腿伸側・足背 § 59 pp. 213-216	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)

※解剖学実習の授業内容の数字は『解剖実習の手びき』のセクションおよびページ

人体構造系Ⅱ(学士3年次)

月	日	曜日	校時	授業項目	授業内容	担当講座等・教員	教室
2	1	月	3 ----- 4	解剖学実習 3 0	眼窩 § 85-87 pp. 319-329 足底① § 60 pp. 216-220	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
2	2	火	3 ----- 4	解剖学実習 3 1	外耳・中耳・内耳とその周辺 § 88-91 pp. 329-340 足底② § 60-61 pp. 216-222	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
2	3	水	3 ----- 4	解剖学実習 3 2	上肢の関節① § 22-23 pp. 73-78 下肢の関節① § 71 pp. 270-271, § 62 pp. 222-225	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
2	4	木	3 ----- 4	解剖学実習 3 3	上肢の関節② § 24-25 pp. 78-80 下肢の関節② § 63 pp. 225-227	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
2	5	金	3 ----- 4	課題学習 1	鎖骨下動脈および腋窩動脈の枝	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
2	8	月	3 ----- 4	課題学習 2	心臓を養う動静脈 腹腔動脈の枝	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
2	9	火	3 ----- 4	課題学習 3	内腸骨動脈の枝 下腿の皮神経および皮静脈	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
2	10	水	3 ----- 4	課題学習 4	外頸動脈および顎動脈の枝	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)
2	12	金	3 ----- 4	解剖学実習 3 4	納棺、実習室清掃	解剖2・岡本、分部 佐伯	実 (解)

※解剖学実習の授業内容の数字は『解剖実習の手びき』のセクションおよびページ

医 と 社 会

責任者	氏名	中園 一郎	内線	7074
	教室	法医学 (法医生体分子解析学)	e-mail	nakasono@nagasaki-u.ac.jp
	オフィスアワー	16時30分～17時30分		

対象年次・学期	3年学士・前期	講義形態	講義・実習
必修・選択	必修	単位数	4(2～4年)
英語名	Medicine and Society		

1. 授業のねらい・方法・到達目標

体験実習を通して、医師の立場から（病院実習）、リハビリ、介護の面からまた看護の面から病院やリハビリ施設で病める人の立場に立った医療を実感する。

2. 授業内容（講義・実習項目）

1) 実習

- (1) 病院体験実習
- (2) 病院実習2 リハビリテーション施設（介護の立場から）

2) 学習テーマ

- (1) 患者とのコミュニケーション
- (2) 患者診察入門
- (3) 高齢者医療
- (4) 介護・介助（介護保険とチーム医療）

3) 体験討論・レポート作成

診療所等の体験について討論し、レポートを作成する。

3. 成績評価の方法・基準

レポート、実習状況、出欠状況等を総合して評価する。

4. 詳細な授業計画は後日配付

5. 備考（準備学習等）